

沼田町化石館年報

第4号

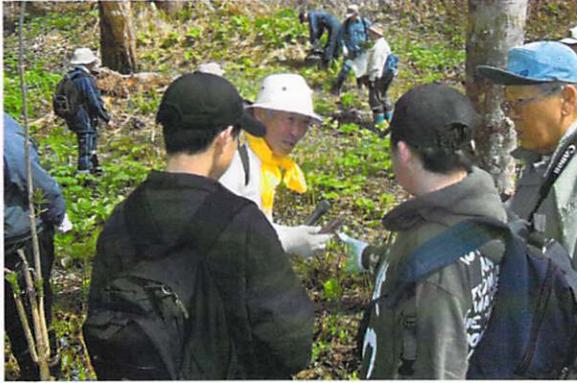
平成 15 (2003) 年度, 平成 16 (2004) 年度合併号

沼田町化石館
Numata Fossil Museum

目次

I	沼田町化石館の紹介	
1.	沿革と目的	1
(1)	沿革	1
(2)	目的	2
2.	施設の概要	3
(1)	館の概要	3
(2)	展示室	3
(3)	レプリカ工房	3
II	事業	
1.	展示	4
(1)	常設展	4
(2)	特別展	4
(3)	企画展	5
2.	教育・普及	5
(1)	化石館事業	5
(2)	体験学習受け入れ	6
(3)	講演・講師活動	7
(4)	広報活動	8
3.	調査・研究	8
(1)	学会講演	8
(2)	野外調査	9
4.	資料収集	10
(1)	現在までの登録資料	10
(2)	今年度収集・登録資料	10
(3)	寄贈された標本	10
5.	レプリカ製作	10
(1)	収蔵資料	10
(2)	委託製作	11
III	管理・運営	
1.	利用状況	11
2.	行事等の経過	14
3.	組織・職員	18

化石館を中心とした事業のいろいろ



山野草観察会(5月)



サタデーミュージアム(5～10月)



町外施設見学「スピカ恐竜王国」(8月)



特別展(7～8月)



山下茂先生追悼展(8月)



企画展(10～11月)



講演会「アンモナイトの魅力」(10月)



札幌かでの2・7移動展(2月)

化石発掘、クリーニング、レプリカづくりなど様々な体験学習



I 沼田町化石館の紹介

1. 沿革と目的

(1)化石町の研究史概略

沼田町に多くの化石が産出することは、開拓の昔から人々によく知られたことでした。先住民であるアイヌの人たちは、化石について「命を終えた遺体を神様が集めて葬ったもの」と考え、その場所を神聖なところと崇め、「セイ・オ・ピラ」（貝殻の多くある崖）と呼びました。

沼田町の化石について最初の記録は、幕末期の安政4年(1857)、この地を探検した松浦武史郎による「石狩日誌」に見ることができます。その中で武史郎は、「セヨピラ」というところで、崖にびっしりと埋まっている貝を探ろうとして、案内のアイヌ人にとがめられたと記しています。

明治26年(1893)以降炭田開発に伴い、かつて炭鉱として栄えた浅野や昭和から、第三紀始新世のアミノドンや第三紀中新世のデスモスチルスといった動物化石が発見されました。

そして、1985年6月、当時秩父別中学校に勤務していた山下茂教諭によって、幌新太刀別川からほぼ1体分がそろった第三紀鮮新世の小型歯クジラ化石が発見されて以来、毎年のように大型の海棲ほ乳類化石の発見が相継ぎました。町では、「沼田ハクジラ会」（現沼田化石研究会）を発足させ、この貴重な化石を発掘し、調査研究を進めてきました。

資料が増加するにともない、1992年に沼田町教育委員会に自然史研究室が開設されましたが、99年12月には、自然史研究室と、別棟であった化石展示室の取り壊しのため、福祉センターの建物を改築して移転し、2000年4月新たに沼田町化石館としてスタートしました。

●主な化石発見の経過〔発見年、場所、発見者、年代、標本（部位）〕

- 1946、幌新太刀別川、山本敏夫、始新世、ワタナベアミノドン(右上顎骨、第2・第3臼歯)
- 1953、雨竜鉱業所、和田達、中新世、デスモスチルス(臼歯)
- 1980、雨竜川、上田重吉、鮮新世、コイワシクジラ(頸椎、胸椎)
- 1985、幌新太刀別川、山下茂、鮮新世、アマタネズミルカ(全身)
- 1986、幌新太刀別川、平田美注、鮮新世、タキカワカイギュウ(肋骨)
- 1986、幌新太刀別川、田中孝幸・加藤正叙・瀬戸正、鮮新世、アシカ科(下顎、前肢、脊椎、肋骨等)
- 1987、幌新太刀別川、松原一雄・松原利浩、中新世、アマタカイギュウ(脊椎、肋骨)
- 1987、幌新太刀別川、瀬戸正・松原利浩、鮮新世、セイウチ科(犬歯、頬歯)
- 1988、幌新太刀別川、田中三郎、鮮新世、ヒゲクジラ類(脊椎)
- 1988、幌新太刀別川、前田寿嗣、鮮新世、ケトテリウム科(下顎)
- 1989、幌新太刀別川支流、松原一雄・松原利浩、鮮新世初期、ヒゲクジラ類・歯クジラ類(部位多数)

- 1989, 雨竜川, 大堀三郎, 鮮新世, コイワシクシラ近似種(頭骨)
- 1989, 雨竜川, 広沢英治, 鮮新世, 歯クシラ類(脊椎)
- 1989, 幌新太刀別川, 廣田清治・山下茂, 鮮新世, イマゴタリア属(下顎骨他)
- 1990, 支線沢川, 白亜紀調査団, 白亜紀, モササウルス類(頭骨)・エラスモサウルス類(頬歯, 脊椎)
- 1990, 幌新太刀別川, 吉住晴美・山下茂, イマゴタリア属(下顎骨, 犬歯, 頬歯, 肋骨)
- 2000, 幌新太刀別川, 松原一雄・松原利浩, 鮮新世初期, ヒゲクシラ類・歯クシラ類(部位多数)

(2)沿革

- ・ 1985年 9月 沼田ハクシラ会設立
- ・ 1988年 5月 沼田ハクシラ会を沼田化石研究会に改称
- ・ 1992年 4月 沼田町自然史研究室開設 古沢仁学芸員着任
- ・ 1998年 4月 古沢学芸員離任 篠原暁学芸員着任
- ・ 1999年 12月 自然史研究室取り壊しのため閉鎖 沼田町化石館へ移転
- ・ 2000年 4月 沼田町化石館オープン
- ・ 2001年 4月 篠原学芸員離任 山下茂指導員着任
- ・ 2003年 8月 山下指導員病気により死去 年度末まで職員不在となる
- ・ 2004年 4月 篠原学芸員着任

(3) 目的

沼田町化石館設置の第1の目的は、沼田町の財産である化石を、町民にわかりやすく展示・普及することにあります。従って、展示される標本は原則として町内で発見されたものに限り、その目的のために、年数回の特別展と企画展を行っています。

第2の目的は、貴重な化石を地元で研究し、その成果を世界に向けて発信することです。そのため、学術的に重要なものについてはレプリカを作成して原標本は厳重に金庫に保管されています。沼田町化石館では、このような化石の発掘からクリーニングを経て、レプリカ作りまでを一貫して行っています。また、インターネットによる情報発信も行っています。

第3の目的は、学校や社会での要求が高まりつつある、体験学習の場を提供し、その活動を支援することです。そのために、化石発掘体験学習への講師の派遣や、化石館内での体験教室などを開いています。

第4の目的は、町内の化石愛好者に向けて情報提供を行うとともに、その活動(友の会)の拠点となることです。また、児童・生徒に対しては、休日の過ごし場を提供するため、化石館教室などを開いています。

このように、町内のみならず、町外に向けても情報発信と自然体験の場を提供する活動が重要になってくると考えています。

2. 施設の概要

(1) 館の概要

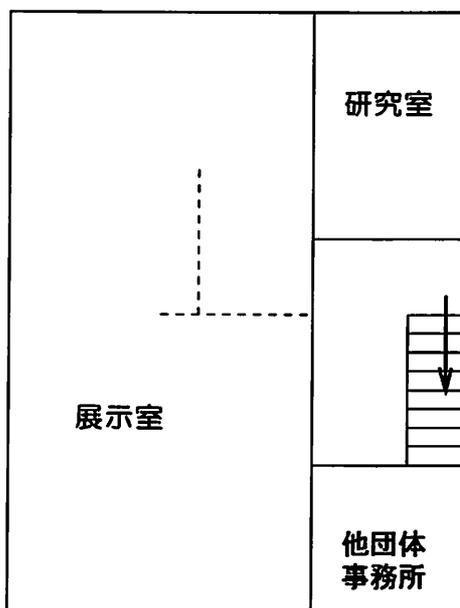
【所在地】北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号

【構造】木造2階建て

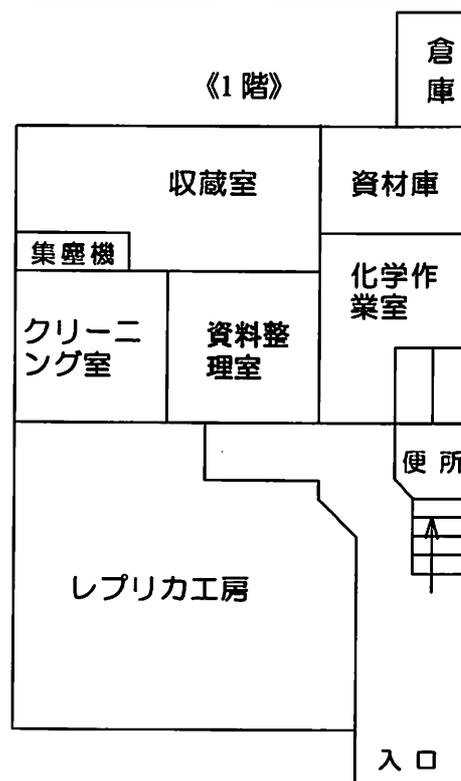
【延べ面積】322.29m²

階	室名	面積	機能
1	レプリカ工房	59.49m ²	展示用のレプリカを製作
	クリーニング室	13.22m ²	ダイヤモンドカッターによる岩石切削
	化学作業室	14.87m ²	酸による化学的クリーニングなどを行う
階	資料整理室	13.22m ²	レプリカ母型の一時保管場所
	収蔵室	24.55m ²	貝や散在の骨化石を収蔵。重要標本は金庫で保管
2	展示室	105.76m ²	町内で発掘された化石を中心に展示
階	研究室	19.30m ²	学芸員(古生物学)1名が常駐

【平面図】 《2階》



《1階》



(2) 2階展示室

町内で発見された、中生代白亜紀から、新生代第三紀鮮新世までの海の動物化石を中心に展示しています。

(3) 1階レプリカ工房

展示のためのレプリカや、復元骨格を製作しています。また、館外からの委託製作や、体験学習の受け入れも行っていきます。

Ⅱ 事業

1. 展示

(1) 常設展

展示物の内容に大きな変更はありませんが、開設5年目を迎え、レイアウトを一部変更しました。その内容は次のようになります。

- ・従来の白亜紀～鮮新世までの時代順のレイアウトを継承しつつ、入ったすぐのコーナーに沼田の化石全時代を概観するコーナーを新設しました。
- ・A3版だった沼田の地層写真をA1サイズに更新しました。
- ・年少児のために塗り絵コーナーをつくり、作品を掲示しました。
- ・小学校児童を対象として、「さわってさがそう」コーナーを新設しました。

入口部分に沼田の化石全体を概観するコーナーを設けたことで、見学者にまず全体像をそこで説明したあと、それぞれ各自のペースでその他のコーナーを見学してもらうという効果をねらいました。

従来大きなパネルをA3版貼り合わせで作っていたものや、A3版のみで製作していた解説パネルを、大判にしたことで、見やすく迫力のある展示にすることができました。

従来からあった「みんなの広場」（こどもたちの作品コーナー）に、新しく塗り絵を取り入れたことで、年少児をつれた親でも子どもが塗り絵を楽しんでいる間にゆっくりと展示を見ることができるようになりました。また、地元の子どもたちも塗り絵を目当てに何度も来館するようになりました。

「さわってさがそう」コーナーは、展示されている化石と同じ部位のレプリカを用意し、実際にさわってよく観察し、それと同じものを展示室内から探し出すという企画です。実際にものを手にすることで、化石が身近に感じられるようになったことと、ここでも、一度体験した地元の子どもたちが、友だちを連れて再度来館するという効果を生み出しました。

(2) 特別展

平成15年度は職員の不在により特別展が実施できませんでしたので、同じ企画を引き継いで、『世界で一つのヌマタネズミイルカの謎』と題して、今年度を実施しました。折しも、平成16年は沼田化石研究会発足のきっかけとなった、ヌマタネズミイルカ発見から20年目にあたるため、このテーマの展示を行うにはよりタイムリーな年でもありました。

特別展の展示は、多少狭くはなりますが常設展示のレイアウトを変更し、スペースを作って行いました。

【会 期】7月24日（土）～8月29日（日）

【観覧者数】221名

【記念講演】「北海道の哺乳類化石研究史」～北海道の化石大集合～

・期日 8月23日（月）

・講師 北海道教育大学名誉教授 木村 方一 氏

(3) 企画展

今年度は次の2つの企画展を開催しました。

①山下茂先生追悼展『水溜まりの宝物』

ヌマタネズミルカの発見者であり、以来沼田化石研究会の中心メンバーとして、活動を牽引してこられた山下茂先生が、平成15年8月に他界され、1周忌にあたり生前のご活躍を偲ぶ意味で追悼展を行いました。山下先生が自ら化石との出会いを綴った自叙伝や、研究ノート、愛用の品、発見した化石などを展示しました。

【会 期】8月23日(月)～8月31日(火)

【会 場】生涯学習総合センター「ゆめっくる」1階ハントホール

②企画展『アンモナイトの魅力』

北海道はアンモナイト化石の産地として有名であり、沼田町からも数点発見されています。当館のアンモナイト収蔵標本は、ほとんどが札幌市の大和治生氏からの寄贈によるもので、今回その大和氏と北海道化石会会員で秩父別町在住の上ヶ島氏の協力で、異常巻きや装飾付きなど、珍しい標本を借用しての開催となりました。

【会 期】10月30日(土)～11月19日(水)

【会 場】沼田町化石館

【記念講演】『アンモナイトの魅力』

・期日 10月30日(土)

・講師 札幌市立前田中央小学校 大和治生 教諭

2. 教育・普及

(1) 化石館事業

沼田の自然や化石に触れあうことを目的とした行事や、化石館を会場として、休日の児童・生徒の受け皿となるような事業を展開しました。

①沼田ときどき探検隊《継続事業》

沼田の自然や化石と触れあうことを目的とした事業で、沼田化石研究会の主催により、恒例の化石採取をメインとして、4回実施しました。

【第1回】春の山野草観察会 (5月8日, 参加者21名)

カタクリ, エゾエンゴサクなどの春の花を観察し, 山菜を天ぷらにして試食しました。

【第2回】幌新太刀別川化石採取会 (7月31日, 参加者131名)

【第3回】幌新太刀別川化石採取会 (8月8日, 参加者81名)

今年度は2回ともベストコンディションで実施することができました。道外からもたくさんの参加が見られるようになりました。

【第4回】町外施設見学会「スピカ恐竜王国」見学 (8月21日, 参加者26名)

札幌市のスピカで開催された恐竜イベントを見学しました。沼田町のモササウルスも展示されていました。

②星空教室《継続事業》

化石館所有の天体望遠鏡や、町民会館に設置されているプラネタリウムの有効活用と、天文ブームに應えるため実施しました。

【第1回】惑星と彗星の観察（5月8日、参加者8名）

最大光度になった金星や、木星、土星を天体望遠鏡で観察し、春の星座についての解説を行いました。

【第2回】ペルセウス座流星群の観察（8月12日：都合により中止）

③サタデーミュージアム《新規事業》

学校が休みとなる土曜日を、児童・生徒に有意義に過ごしてもらうことを目的とし、テーマは土や石にちなんだものを多く取り入れました。

【第1回】春の山野草観察会への参加（5月8日、参加児童・生徒6名）

可憐な春の花について講師の説明を熱心に聞いたあと、大人に混じって急な崖登りに挑戦し、食べられる野草を探し求めました。

【第2回】光る泥だんご作り（6月19日、参加者23名）

幼稚園児から中学生まで、幅広い参加でにぎわいました。ただの泥だんごが次第に固くなり光りだす様子に感激しました。

【第3回】アンモナイトのレプリカづくり（7月10日、参加者5名）

アンモナイトを粘土で型取りし、石こうを流して作りました。そのあと思い思いの色を塗りました。

【第4回】土の中から宝石を探そう（8月14日、参加者2名）

火山灰を洗って鉱物を拾い集めたり、石の中から石英の結晶を取りだして、磨きました。

【第5回】石に絵を描こう（9月11日、参加者3名）

拾ってきた石に絵の具で好きな絵を描いてみました。細長い石と丸い石を組み合わせてきのこもできました。

【第6回】古代人のアクセサリーづくり（10月9日、参加者5名）

川で集めてきた石の中から一番硬い石を探し、それを打ち欠いて造ったきりでやわらかい鉱物に穴をあけ、ネックレスにしました。

(2) 体験学習受け入れ

学校関係では、見学旅行や理科・総合学習などの授業の一環として、また、社会教育関係団体も、教育委員会主催のものだけでなく、民間団体やPTAなど多彩な団体が、体験学習に訪れました。内容としては、野外での化石発掘と、化石館体験工房でのレプリカづくりなどを行いました。今後も需要の増加が見込まれ、受け入れ側としてスタッフの充実など、課題が残されました。

①化石発掘体験学習

市街地から車で10分ほどの幌新太刀別川河床に露出する、500万年前のタカハシホタテ化石を採取します。今年度は川の水量が比較的少なく、天候にも恵まれて良い状態で実施できました。

【実施団体一覧】

団体名称	実施日	人数
浦臼町立浦臼中学校2年生宿泊研修	6月2日	20人
沼田町役場地域開発課ほたるの里体験学校	6月4日	10人
カムイミンタラ探検隊	6月12日	16人
北海道留萌千望高校1年生宿泊研修	6月13日	26人
深川市教育振興会理科サークル	6月15日	12人
雨竜町教育委員会	6月26日	32人
旭川市博物館親子化石採集会	6月27日	40人
札幌市立豊滝小学校6年生修学旅行	7月8日	11人
北海道滝川高校理数科	7月16日	42人
ボーイスカウト旭川20団	7月19日	33人
深川市立納内小学校6年生理科学習	7月20日	40人
秩父別町教育委員会	7月25日	30人
深川市立深川小学校PTA文化部親子化石さがし	7月25日	75人
妹背牛町教育委員会	7月26日	24人
北海道教育庁空知教育局初任者研修	7月29日	22人
沼田町役場地域開発課ほたるの里体験ツアー	8月4日	21人
北海道スポーツ少年大会	8月10日	120人
増毛町立増毛第2中学校理科発展学習	8月23日	44人
雨竜町立雨竜小学校6年生理科学習	9月2日	28人
合 計		646人

②レプリカ製作体験および化石クリーニング体験

野外の状況により化石発掘ができない場合、代替プログラムとしてレプリカ製作体験を行う場合がありますが、最近ではそれ自体を目的として来館する団体も増えてきています。むしろ、化石発掘ができなかった場合は、館で用意した化石をクリーニングして持ち帰る「化石クリーニング体験」が、悪天候により予定を変更せざるをえなかった団体には好評でした。

【実施団体一覧】

団体名称	実施日	内容	人数
ボーイスカウト旭川20団	7月19日	レプリカ	33人
妹背牛町教育委員会	7月26日	クリーニング	24人
旭川ふれあい福祉会	8月19日	クリーニング	39人
合 計			96人

(3) 講演・講師活動

化石館での体験学習受け入れ事業とは別に、学芸員が出向いての出張授業や、講師依頼への対応を行いました。

【依頼団体一覧】

団体名称	実施日	内容
深川市立納内小学校5年生宿泊学習	7月8日	天体観察
深川市内園子子供会	8月18日	天体観察
札幌市博物館活動センター	2月19日	レプリカ製作

(4) 広報活動・出版物

化石館の活動紹介や行事の周知のため、広報誌やパンフレットを発行しました。

① 広報誌

『沼田町化石館だより』を5月から11月までの7回発行しました。体裁はカラーレーザープリンタによるA4版両面印刷で、毎回500部印刷し、町内の児童・生徒に全員配布の他、沼田化石研究会員、交流のある博物館・研究機関などにも配布しました。

【主な内容】

- ・5月号 山野草観察会の案内、5月の星空
- ・6月号 光る泥だんご作りの案内、展示室新コーナー紹介
- ・7月号 レプリカ教室、化石採取会の案内
- ・8月号 町外施設見学、宝石さがしの案内
- ・9月号 石に絵を描こうの案内、特別展の報告
- ・10月号 古代アクセサリーづくりの案内、鯨発掘の報告
- ・11月号 企画展の案内、クジラレプリカ完成報告

② 体験学習紹介パンフレット

沼田町化石館で行っている化石発掘や、化石レプリカづくりなどの体験学習について、さらに多くの方に知っていただくために、パンフレットを制作しました。体裁はインクジェットプリンタによるカラー写真入りA3版を2枚折りにしたものに、A4版1枚を綴じ込んだ6頁仕様です。北海道内の主に大都市圏の旅行会社企画担当者と、同じく大都市圏の小学校見学旅行担当者に配布する予定です。

また、同じ内容のものをさらに詳しくしたパンフレットを、PDFファイルとして化石館ホームページに掲載し、ダウンロードできるようにしています。

3. 調査・研究

(1) 学術講演

沼田町化石館が行っている研究の成果を発表する場として、次の学術講演を行いました。

① 日本古生物学会 2004 年年会

【期 日】2004年6月25日～27日

【会 場】北九州市立自然史・歴史博物館

【講演者】学芸員 篠原 暁

【演 題】北海道沼田町より発見されたクジラ化石について

【内 容】沼田町幌新の鮮新世、幌加尾白利加層最下部より発見されたクジラ化石は、大型のヒゲクジラと小型の歯クジラが混在しており、今後部位の特定や個体数、正確な年代決定を進めていかなければならない。

(2) 野外調査

現在研究継続中の化石については、さらなる情報と資料の充実を目指し、また、新たな発見を期待して次の野外調査および発掘を行いました。

① マツバラクジラ(通称)発掘調査

1989年と2000年に町内幌新の通称松原の沢で発掘を行ったクジラ化石については、2003年度までに剖出作業を完了しましたが、その後も現場からさらに化石を包含したノジュールが見つかり、今年度も引き続き調査を行いました。第1回と第2回調査については、木村方一北海道教育大学名誉教授、田中三郎沼田化石研究会調査部長と、発見者の松原一雄氏に同行していただきました。

【調査地点】沼田町幌新第1

幌新太刀別川支流(通称松原の沢)

【第1回調査】6月10日

化石包含ノジュール4個を確認

【第2回調査】8月24日

ノジュール2個を追加発見。本発掘の日程について協議。

【第3回調査】9月3日

重機担当の建設会社と現地下見。発掘について打ち合わせ。

【第4回調査】9月24日

現場ルートマップを作成。

【本発掘】9月29日

沼田化石研究会より10名参加。沼田小学校6年生、沼田中学校1年生見学。当日新たな発見分を含め、10個のブロックを採取。



② 幌新太刀別川地質調査 (6月～9月)

化石を多産する恵比島第4地区で、幌加尾白利加層下部(約5百万年前)について、数回の調査を行いました。特筆すべき発見はありませんでした。

③ 雨竜川地質調査(9月～10月)

今年度は川の水量が少なく、調査条件が良好でした。高穂地区で幌加尾白利加層下部(約5百万年前)、共成地区で中期中新世の西徳富層群幌新層(約8百万年前)について2回の調査を行い、幌加尾白利加層より、哺乳類の肋骨頭と思われる骨片を採取しました。

④ 白亜紀地質調査(11月)

幌新太刀別川上流、旧浅野地区の右大股沢において、新生代第三紀始新世雨竜層群(約4千万年前)から、中生代白亜紀上部蝦夷層群(約9千万年前)にかけての調査を行いました。時期的に晩秋にかかっており、川の水量も多く、調査は困難でした。

4. 資料収集

(1) 現在までの登録資料数

各時代に渡って化石を産出する地層が主に海成層であるため、産出化石のほとんどが海の動物です。脊椎動物では鯨類が圧倒的に多く、鰭脚類も比較的多く産出します。脊椎動物などで、いくつかの部位を合わせて1個体と判断できるものは、まとめて1つに数えています。斧足類の大部分はタカハシホタテが占めています。同様に頭足類もほとんどがアンモナイトです。その他のなかには石炭が含まれます。

(2) 今年度収集・登録資料

9月に発掘を行った化石包含ノジュールについては、未剖出であるため掲載していません。その他、地質調査や体験学習で発掘されたもの、購入したものは次のとおりです。

・沼田町化石館登録資料数

分類		標本数	
哺乳類	鯨類	鬚鯨	20
		齒鯨	12
			38
	海牛類	5	
	束柱類	2	
	鰭脚類	14	
	奇蹄類	1	
		14	
	鳥類	4	
	は虫類	3	
	魚類	19	
	斧足類	732	
	腹足類	68	
	頭足類	192	
	甲殻類	11	
	棘皮動物	20	
	植物	85	
	現生標本	256	
	岩石・鉱物・その他	115	
	合計	1611	

標本名	発見者	産出地
・哺乳類肋骨	留萌千望高校	沼田町北竜第3
・哺乳類肋骨	篠原暁	沼田町高穂第2
・アンモナイト (<i>Douvilleiceras</i> sp.)	購入	フランス
・アンモナイト (<i>Desmophyllites</i> sp.)	購入	北海道根室地方
・アンモナイト	購入	イギリス
・サメの歯	購入	モロッコ
・三葉虫 (<i>Calymene</i>)	購入	モロッコ
・琥珀 (昆虫入り)	購入	リトアニア

(3) 寄贈された標本

標本名	個数	寄贈者	産出地
・アンモナイト	1個	上ヶ島元正	沼田町支線沢
・恐竜頭骨レプリカ	2体	ルイド古生物研究所	

5. レプリカ製作

当館の収蔵資料と、館外から委託されて製作したレプリカは次のようになります。

(1) 収蔵資料

【平成15年度】

① 現生ホッキョクグマ(♂)全身骨格(旭山動物園所蔵)

骨格組み立て後、展示室に展示しました。

②ヤマシタヌマタネズミイルカ産状復元(沼田町化石館所蔵)

発見時の産出状態を復元し、展示室に展示しました。

③現生ネズミイルカ全身骨格(沼田町化石館所蔵)

骨格組み立て後、平成16年特別展で展示しました。

【平成16年度】

①タカハシホタテ3個

フジテレビ系列「晴れたらイイねッ！」(7月11日放送)の収録で採取したものを、記念にレプリカを残し、実物は出演者にさし上げました。

②ヤマシタヌマタネズミイルカ生体復元模型(実物大)

ウレタンフォーム製、ポリエステル樹脂塗布仕上げ、特別展で展示しました。

(2)委託製作

【平成15年度】

①現生ミンククジラ頭骨(沼田町化石館所蔵)

比較検討資料として、黒松内町に納入しました。

②戸隠村産海牛肋骨(戸隠村地質化石館所蔵)

戸隠村との交換資料として滝川市美術自然史館に納入しました。

③タキカワカイギュウ頭部(滝川市美術自然史館所蔵)

滝川市との交換資料として戸隠村地質化石館に納入しました。

【平成16年度】

①ヒドロダマリス科海牛生体復元模型(1/10スケール)

硬質ウレタン製2体、ポリエステル樹脂製2体を製作し、札幌市博物館活動センターに納入しました。

②恐竜(イトモトサウルス、アバートサウルス)頭骨(クレイド古生物研究所所蔵)

それぞれ2体ずつ製作し、1体ずつは「スピカ恐竜王国」イベントで活用されました。残りはクレイド古生物研究所より当館に寄贈を受けました。

③黒松内町産クジラ頭骨化石(黒松内町所蔵)

大型のヒゲクジラ頭骨で、黒松内町立中の川小中学校に納入しました。

④札幌産海牛化石肋骨(札幌市博物館活動センター所蔵)

産出部位のレプリカを、札幌市博物館活動センターに納入しました。

⑤ヌマタカイギュウ全身骨格(沼田町化石館所蔵)

比較検討資料として、札幌市博物館活動センターに納入しました。

Ⅲ 管理・運営

1. 利用状況

(1)入館者数

今年度4月より町外の来館者から入館料を徴収することになりましたので、観覧料別に無料入館者(町内在住者、招待者、幼児)、個人有料入館者、団体有料入館者に分け、4月～3月までの年度で集計する方式に変更しました。

【平成 15 年および 16 年 3 月までの入館者数】

月	一般	高校	中学	小学	幼児	合計
1	18	0	6	0	0	24
2	38	1	8	3	0	50
3	31	0	18	17	1	67
4	35	12	0	35	5	87
5	93	7	27	55	1	183
6	88	1	26	15	0	130
7	148	51	5	107	8	319
8	213	11	12	153	13	402
9	62	1	13	9	4	89
10	44	0	5	3	1	53
11	14	0	0	0	0	14
12	4	1	0	0	0	5
合計	788	85	120	397	33	1423
1	5	1	0	1	0	7
2	8	0	0	1	0	9
3	11	0	2	3	0	16
合計	24	1	2	5	0	32

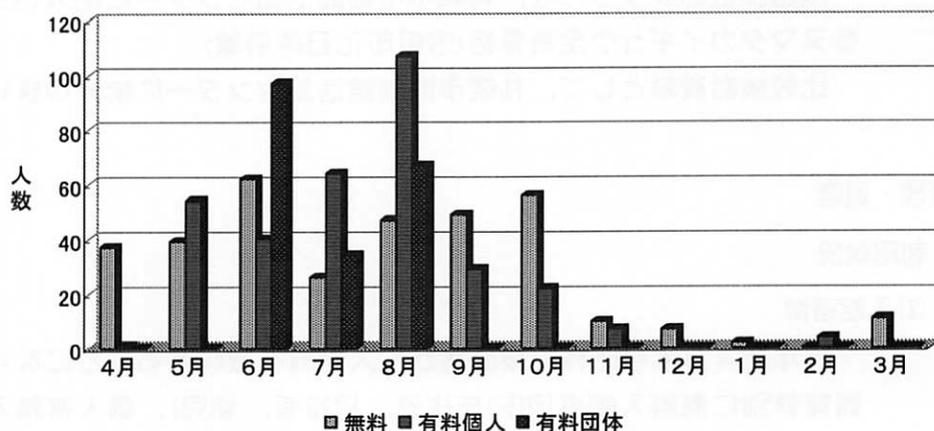
【平成 16 年度入館者数】

月	町内(招待者含む)						町外(個人)						町外(団体)						合計
	幼児	小学	中学	高校	一般	小計	幼児	小学	中学	高校	一般	小計	幼児	小学	中学	高校	一般	小計	
4	0	12	0	0	25	37	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	38
5	1	31	1	3	3	39	4	9	2	1	38	54	0	0	0	0	0	0	93
6	4	33	1	2	22	62	6	6	2	0	26	40	0	35	16	0	46	97	199
7	0	14	0	0	12	26	4	14	1	0	45	64	2	20	0	0	12	34	124
8	5	21	1	1	19	47	4	29	2	1	71	107	0	14	39	0	14	67	221
9	4	31	0	0	14	49	3	4	0	0	22	29	0	0	0	0	0	0	78
10	8	13	0	0	35	56	2	1	0	0	19	22	0	0	0	0	0	0	78
11	3	4	0	0	3	10	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	17
12	2	0	0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	4
3	3	0	0	0	8	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
合計	30	159	3	6	148	346	25	63	7	2	231	328	2	69	55	0	72	198	872
割合	3.4	18.2	0.3	0.7	17.0	39.7	2.9	7.2	0.8	0.2	26.5	37.6	0.2	7.9	6.3	0.0	8.3	22.7	100.0

(2)入館者の状況

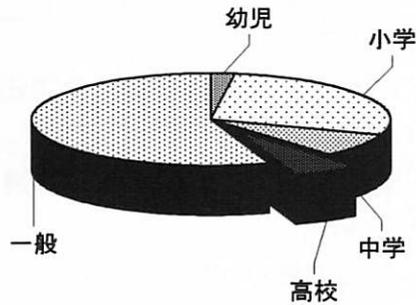
①月別の利用状況

2004年度月別入館者数

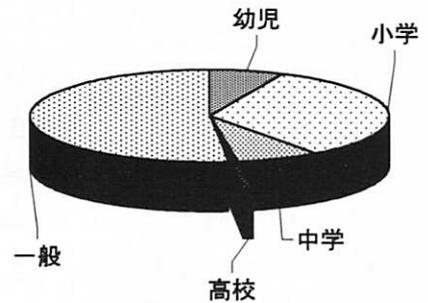


②来館者の年齢構成

2003年度年齢階層別入館者割合



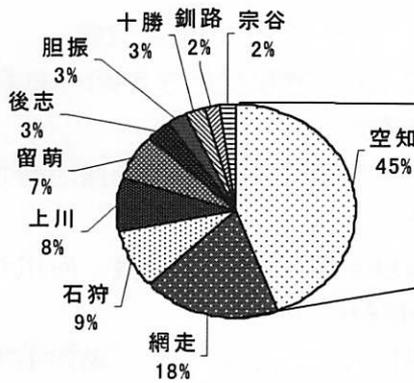
2004年度年齢階層別入館者割合



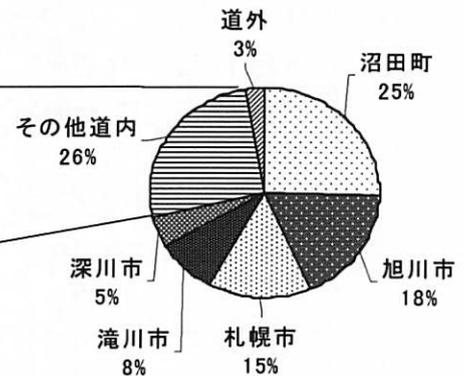
グラフでわかるように、「小学生を連れた家族」というのが一般的な来館者の形態であるといえます。2004年度に高校生の割合が減少したように見えているのは、野外活動だけを行い、入館料を徴収しない団体があったため、体験学習を含めた利用者の割合は大きく変わっていないといえます。

③来館者の居住地域

その他道内支庁別来館者割合

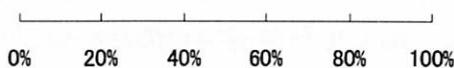
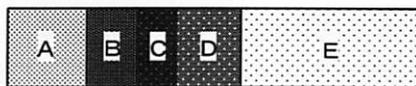


居住地別来館者割合



入館者の25%は町内からの来館者です。大都市では一番近い旭川市がそれに次いでいます。また、道内最大都市の札幌市からも多数の来館がありました。その他の道内からの来館者では、やはり近隣の空知管内からの来館が多く見られました。

④来館の動機



来館者に次の中から選んでもらいました。

- A：たまたま通りがかった
- B：ひとから聞いた
- C：チラシ、ポスターを見た
- D：インターネットで見た
- E：その他（本や地図に載っていたなど）

来館のきっかけとしては、インターネットで見たというのが増えてきていますが、まだ広く知られてはいないようです。

2. 行事等の経過

【平成 15 年 1 月～平成 16 年 3 月まで】

月 日	行 事 等 の 内 容
1 月 14 日	中生代コーナー展示小改装
1 月 29 日	マツバラクジラについて、北海道新聞、北空知新聞取材で来館
2 月 14 日	北竜町老人大学で講演（山下指導員）
2 月 20 日	北海道新聞、マツバラクジラ頭骨について報道
2 月 27 日	マツバラクジラ展示開始
3 月 6 日	ホッキョクグマレプリカ展示開始
3 月 13 日	読売新聞取材のため来館
3 月 19 日	リクルート北海道『じゃらん』編集部取材のため来館
3 月 27 日	化石研究会「レプリカ講座」 12 名参加
4 月 2 日	NHK 記者瀬川氏取材のため来館
4 月 9 日	林龍彦氏寄贈の貝類標本パネル展示完了
4 月 18 日	又マタネズミルカ産状模型完成
4 月 30 日	沼田化石研究会総会
5 月 6 日	山下指導員深川市立病院に入院
5 月 15 日	化石館南側壁面に化石キャラクターの看板設置
5 月 17 日	化石研究会「山野草観察会」（講師橋場守会員） 35 名参加
5 月 19 日	化石館屋根の補修工事終了
5 月 28 日	栗山中学校化石発掘体験学習（札幌市博物館活動センター古沢学芸員に講師を依頼） 25 名
6 月 4 日	浦臼中学校化石発掘体験学習（古沢学芸員、滝川シレニア会田中事務局長に講師を依頼） 29 名
6 月 20 日	深川市教育振興会理科部会化石発掘体験（納内小学校篠原教諭に講師を依頼） 8 名
6 月 21 日	北海道教育大学旭川校化石発掘体験（講師篠原教諭） 30 名
6 月 23 日	町議会産建民生常任委員会視察のため来館 6 名
6 月 26 日	新川高校化石発掘体験学習（講師古沢学芸員） 43 名
//	町内新採用・転入教職員見学 8 名
6 月 28 日	滝川市美術自然史館化石発掘体験学習（講師田中事務局長） 14 名
7 月 6 日	和歌山県立博物館小原正顕学芸員 視察のため来館
7 月 7 日	沼田高校 2 年生化石発掘体験学習（講師田中氏） 3 名
7 月 9 日	空知教育研修センター化石発掘体験（講師田中氏） 11 名
7 月 10 日	秩父別町理科サークル 雨で化石発掘中止のためレプリカづくり体験（講師田中氏） 7 名
//	旭川市博物館向井学芸員来館
7 月 11 日	クラーク記念国際高校 前日の大雨のため化石発掘中止でレプ

	リカづくり体験 (講師田中氏) 13名
7月16日	納内小学校化石発掘体験学習 (講師篠原教諭) 21名
7月17日	滝川高校化石発掘体験学習 (講師田中氏) 43名
7月19日	雨竜町教育委員会化石発掘体験学習 (講師田中氏) 39名
7月24日	秩父別町教育委員会化石発掘体験学習 (講師田中氏) 24名
7月27日	沼田町教育委員会 親子キャンプで化石発掘体験学習 (講師田中氏) 17名
7月30日	モンゴルからの留学生が見学のため来館
7月31日	空知教育局初任者研修で化石発掘体験学習 (講師篠原教諭) 37名
8月2日	沼田化石研究会化石採取会 87名参加
//	札幌市北1条教会見学のため来館 40名
8月6日	美瑛町少年消防クラブ見学のため来館 34名
8月7日	妹背牛町教育委員会化石発掘体験学習 (講師田中氏) 21名
8月21日	太陽の会化石発掘体験学習 (講師田中氏) 23名
8月24日	入院中の山下指導員逝去
9月5日	東神楽町消費者協会見学のため来館 25名
9月11日	沼田中学校3年生総合学習のため来館 14名
10月6日	多度志中学校総合学習のため来館 6名
10月21日	北広島市教育委員会視察のため来館 3名
10月22日	風連町六四巳年会見学のため来館 18名
11月20日	現生ミンククジラ頭骨レプリカ黒松内町へ発送
11月25日	滝川市美術自然史館半井学芸員来館
12月9日	消防設備点検
12月15日	北海道教育大学札幌校木村名誉教授, 札幌市博物館活動センター古沢学芸員, 現生アジアゾウレプリカを返却のため来館
1月29日	戸隠村地質化石館より海牛肋骨が届く レプリカ製作開始
1月30日	滝川市美術自然史館半井学芸員来館 滝川海牛頭骨レプリカ製作の依頼を受ける
2月27日	沼田町議会中村議員視察のため来館
3月16日	沼田町議会上野議員視察のため来館

【平成16年度】

月日	行事等の内容
4月1日	篠原学芸員着任
4月6日	旭山動物園田中千春さん, 杉村尚美さんレプリカ製作研修のため来館
4月9日	木村名誉教授, 今後の研究推進について打ち合わせのため来館
4月12日	展示室更新作業終了 観覧料徴収開始

4月14日	旭山動物園レプリカ製作研修2回目
4月16日	友好姉妹都市カナダポートハーディー市より訪問団 22名
4月30日	展示室内に「ぬりえ展示コーナー」を設置
5月4日	展示室内に「さわってさがすコーナー」を設置
5月8日	沼田化石研究会山野草観察会 (講師橋場守会員) 23名
//	星空観察会 (講師篠原学芸員) 8名
5月19日	沼田小学校2年生生活科 町内探検 10名
5月22日	琵琶湖博物館にて日本化石研究会年会出席 (篠原学芸員)
5月27日	滝川市美術自然史館半井学芸員来館 標本貸し出しについて打ち合わせ
5月30日	地質学会北海道支部野外巡検で幌新太刀別川露頭を観察
//	札幌市博物館活動センター古沢学芸員来館 タキカワカイギュウ生体復元模型作成依頼を受ける
6月2日	浦臼中学校2年生化石発掘体験学習 (講師篠原学芸員) 23名
6月3日	消防設備点検
6月4日	役場地域開発課「沼田学講座」化石発掘体験 (講師篠原学芸員) 8名
6月6日	女満別遺族会見学 27名
6月9日	黒松内町よりレプリカ製作依頼のクジラ頭骨化石到着
6月10日	クレイド古生物研究所早川学芸員来館 恐竜頭骨レプリカ2体の製作依頼を受ける
//	松原の沢化石調査(木村名誉教授, 田中氏, 篠原学芸員)
//	タキカワカイギュウ復元模型完成
6月12日	カムイミントラ探検隊化石発掘体験学習(講師篠原学芸員)18名
6月13日	留萌千望高校化石発掘体験学習 小型クジラと思われる哺乳類肋骨1本を発見 (講師篠原学芸員) 23名
6月15日	深川市教育振興会理科部会化石発掘体験(講師篠原学芸員)8名
6月19日	サタデーミュージアム「光る泥だんご」(講師篠原学芸員)23名
6月24日	フジテレビ『晴れたらイイねッ!』撮影 出演者3名幌新太刀別川で化石採取(篠原学芸員案内)
6月26日	雨竜町教育委員会化石発掘体験学習 14名 (講師田中氏)
//	北九州市立自然史・歴史博物館での日本古生物学会で沼田のクジラ化石について講演 (篠原学芸員)
6月27日	旭川市博物館化石発掘体験学習 36名(講師田中氏)
6月30日	クレイド古生物研究所より依頼の恐竜レプリカ完成
7月5日	北九州自然史・歴史博物館岡崎学芸員, 札幌市博物館活動センター古沢学芸員来町 恵比島～浅野地区の化石露頭を見学
7月7日	京都大学大学院生楠橋さん地質調査のため来町 沼田の地質についての情報を提供
7月8日	豊滝小学校修学旅行で化石発掘体験学習(講師篠原学芸員)12名

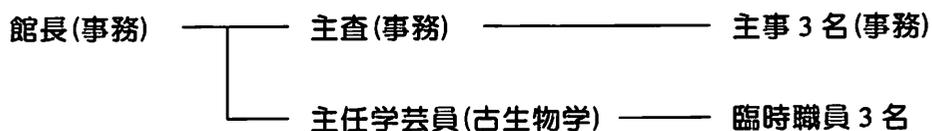
//	納内小学校宿泊学習の星座観察会に講師派遣 (篠原学芸員)
7月10日	サタデーミュージアム「アンモナイトのレプリカづくり」(講師篠原学芸員)5名
7月11日	フジテレビ『晴れたらイイねッ!』放送
7月16日	滝川高校化石発掘体験学習 (講師篠原学芸員) 39名
7月19日	旭川ボーイスカウト 20 団化石発掘体験学習(講師篠原学芸員) 33名
7月21日	納内小学校化石発掘体験学習(講師篠原学芸員) 40名
7月24日	化石特別展開始(8月31日まで)
7月25日	秩父別町教育委員会化石発掘体験学習(講師篠原学芸員) 30名
//	深川小学校 PTA 化石発掘体験学習(講師篠原学芸員) 75名
7月26日	妹背牛町教育委員会化石発掘体験学習 突然の雷雨で化石クリーニングに変更(講師篠原学芸員) 24名
7月31日	沼田化石研究会化石採取会1回目 131名
8月4日	ほたるの里体験学習ツアー化石発掘体験(講師篠原学芸員)21名
8月7日	サタデーミュージアム「土の中から宝石を探そう」(講師篠原学芸員) 2名
8月8日	沼田化石研究会化石採取会2回目 83名
8月10日	北海道スポーツ少年大会化石発掘体験学習(講師篠原学芸員) 120名
8月20日	いちもく(旭川ふれあい福祉会)化石クリーニング体験(講師篠原学芸員) 39名
8月21日	沼田化石研究会町外施設見学「スピカ恐竜王国」 26名
8月23日	増毛第2中学校化石発掘体験学習(講師篠原学芸員) 44名
//	山下茂先生追悼展開始(9月4日まで)
//	講演会「北海道の古生物研究史」 講師 木村方一北海道教育大学名誉教授 会場 ゆめっくるホール 23名
8月24日	松原の沢化石調査(木村名誉教授, 田中部長, 篠原学芸員)
9月1日	台風16号の影響で特別展の看板が破損
9月8日	台風18号で観測史上最高の強風を記録 午後閉館
9月12日	木村名誉教授, 古沢学芸員 米国の鯨類化石研究者(Thomas A. Demere 博士と Annalisa Berta 教授)とともに視察のため来館
9月18日	サタデーミュージアム「石に絵を描こう」(講師篠原学芸員) 3名
9月29日	マツバラクジラ発掘 木村名誉教授, 田中部長, 松原氏ほか沼田化石研究会員10名が参加 沼田小学校6年生, 沼田中学校1年生が見学
10月9日	サタデーミュージアム「古代人のアクセサリー」(講師篠原学芸員) 5名
10月13日	夕張石炭の歴史村化石展示館高橋学芸員, 石炭博物館熊谷館長

	来館 化石発掘体験学習現場を視察
10月14日	山の手博物館鈴木館長視察のため来館
10月22日	黒松内クジラ化石レプリカ発送
10月23日	黒松内町ブナセンター高橋学芸員来館 クジラ化石標本を返却
10月24日	足寄動物化石博物館にて鯨胎児の解剖作業を見学(篠原学芸員)
10月27日	福井県立恐竜博物館一島研究員来館 マツバラクジラ化石研究についての助言を受ける
10月29日	黒松内町中の川小中学校での公開授業を参観(篠原学芸員)
10月30日	企画展「アンモナイトの魅力」開始 (11月19日まで)
//	講演会「アンモナイトの魅力」 講師 大和治生札幌市立前田中央小学校教諭 会場 ゆめっくるホール 23名
11月5日	浅野地区右大股沢化石調査 (篠原学芸員)
12月16日	木村名誉教授来町 松田新教育長と化石館の構想について懇談
12月18日	消防設備点検
//	沼田化石研究会顧問 村上元教育長逝去
1月31日	暴風雪のため臨時閉館
2月28日	札幌市かでの2・7の9階「まなびの広場」にて移動展「化石王国沼田町」開始 (3月29日まで)

3. 組織・職員

組織は次のようになります。館長および事務局は教育委員会と兼務です。化石館には学芸員と臨時職員が常駐しています。臨時職員は化石の剖出作業やレプリカ製作など、専門的な業務を行っています。

【平成16年度組織図】



【平成16年度職員名簿】

館長(教委次長兼務)	金平 嘉則
主査(教委主査兼務)	神薮 太
主任学芸員(学芸員)	篠原 暁
主事(教委主事兼務)	岩井 俊直
主事(教委主事兼務)	大原 利啓
主事(教委主事兼務)	竹田 優子
臨時職員	辻 優子
臨時職員	小坂 恵子
臨時職員	谷口 真弓

沼田町化石館年報
第4号

平成15(2003)年度, 16(2004)年度合併号

発行日 2005年3月31日

発行者 沼田町化石館

〒078-2202

北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号

電話・FAX 0164-35-1034

E-mail kaseki@guitar.ocn.ne.jp

URL <http://www3.ocn.ne.jp/~kaseki/>